

10105酒類製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	13~14	酒粕を切り分ける作業終了後、作業台上の物の上に置かれていた包丁の刃先が浮いていたが、そのまま作業台の片づけをしていた。包丁の刃先に手が接触し、右手人差指を切った。	31	8	364	10 ~ 29
2	2017	12	8~9	米の入ったフレコンをクレーンで吊り上げる作業の際、蒸し器の架台に吊り金具が引っ掛かった為傾き、それを修正しようとした際にステンレス製の金具に引っ掛け裂傷を負った。（巻き上げ490kg）	34	8	211	30 ~ 49
3	2017	11	14~15	工場内で、割水作業の為屋内タンクの上で攪拌機を持ち上げている時に足が滑り転倒し、腰を骨折した。	45	2	321	10 ~ 29
4	2017	11	9~10	レッテルを貼る機械に証紙をセットした時、スイッチのボタンを押すタイミングを誤り、人差し指と中指を巻き込まれた。巻き込まれたことにより指が圧迫裂傷した。	24	7	169	30 ~ 49
5	2017	11	13~14	年末の仕込み繁忙期にあたり、当日も朝礼で作業上の安全配慮について注意を喚起した。午前中より、びん酒の蓋くり抜きプレス機で着装作業をしていたが、エア漏れ音がしたため、午後の作業開始時に当該箇所を特定するため、探したが、電源を落としていなかったため、誤ってプレス部に挟まれた。瞬時に手をどけたが、右手薬指の先端を切創した。	58	7	169	10 ~ 29
			9~	従業員にお茶を出すため、サンダルを履いてお茶菓子を持って				10

6	2017	11	10	運んで母屋に戻ってくる途中、転んで左足の膝の下の骨にヒビが入ってしまった。	65	2	417	～ 29
7	2017	11	8～9	自宅前に駐車してある車に出張時の荷物を積むために、荷物を右手に持ち車に近付いたところ、地面が氷状で滑り転倒時に左手をついて痛めた。	64	2	719	50 ～ 99
8	2017	10	9～ 10	蔵の3階から2階へ下りる階段の下から2段目より落下。物干し作業後の移動中に足を踏み外して左手をついて転倒した。	43	1	413	10 ～ 29
9	2017	9	9～ 10	当社において、酒造準備のため1Fの床、壁、仕込み蔵の清掃作業中、冷蔵庫の壁を洗うため脇の柱に梯子を掛けて約2m高（一番上）まで昇り洗おうとしたところ、床が水で濡れていたため梯子の根元が滑って梯子と共に落下、梯子に股間（睾丸）を強打した。	69	1	371	30 ～ 49
10	2017	9	16～ 17	当人は商品包装業務を常として勤務していたが、月末のため5階の倉庫内の商品在庫の確認のため台（アルミニウム製）の上に入り確認作業をしていたところ、アルミ台のストッパーが掛かっておらず、4本の足が滑り左右に広がり真下に転落する事となり、怪我をすることとなった。後は、動くことも出来ず、四つん這いになり鉄扉まで移動して隣室の方に知らせ、救急車を呼んでもらい病院まで運んでもらうこととなった。	32	1	371	50 ～ 99
11	2017	9	14～ 15	製品倉庫内にて、フォークリフトを使用し荷受けステージ上へ運搬していたところ、荷卸しの際にフォークリフトの爪がパレットに引っかかったために爪を抜こうとバックしたが、アクセルを踏み過ぎ、ハンドルが切られていたために急旋回し、ステージ下（約1.5m）へフォークリフトごと落下したもの。転落の際にコンクリート床に体を打ちつけ、左足踵の骨折および第五脊椎を圧迫骨折したものである。	59	1	222	100 ～ 299
				当工場内にある品質管理棟内の階段で、他現場に向かうため2階				

12	2017	8	13~ 14	から1階へ移動中、手に荷物を持っていない状態で手摺りに手を掛け、階段を下りていた。階段が終了する1~2段手前で、次の行動であるヘルメットに意識が移り、その瞬間に手摺りを放し、階段から落下した。なお、踏み外した段数（1~2段）の記憶はない。	51	1	413	100 ~ 299
13	2017	8	10~ 11	二次加工場にて、1.8?瓶を箱から段ボールに詰め替える作業において、完成した段ボール（20kg弱）をパレットに積む作業を行っていた。低い所への積みつけ時に中腰となり、その際に腰に痛みを感じ、作業を中断した。	36	19	921	100 ~ 299
14	2017	8	10~ 11	工場2階のラベラー機前で1.8?ラベル張り作業終了後、ラベラー部品の取り外し作業時、2人で作業中、1人が声かけをせず、手動電源を入れ機械を回転させてしまい、ラベラー機に右手を挟まれた。	48	7	169	50 ~ 99
15	2017	7	12~13	兼用Aラインにて機械への資材供給作業中、資材を積載していたパレットが空になったので片付けようとした際、パレットを持ち上げたところ手を滑らせ左足甲にパレットが落下した。	54	4	611	50 ~ 99
16	2017	4	10~ 11	工場内においてフレコンバック（ビニール製の大袋）の洗浄作業の準備をする為フレコンバックの中央をつかもうと大きく右足を前に出した。その際、積み重ねられていたフレコンバックの上に足を乗せたことにより、フレコンバックが滑り足が大きく右外側に滑り骨折した。	64	2	611	100 ~ 299
17	2017	4	13~ 14	消費期限切れの蜂蜜を廃棄処分する為、蔵内からウイスキー蒸留棟へ開栓途中の一斗缶を運んでいる途中、手を滑らせ一斗缶を落とした。その際に切り口部分で右手中指を負傷し、右中指皮膚欠損創を負った。	30	4	611	10 ~ 29
18	2017	4	9~ 10	ワインの濾過室で、濾過作業をしている時、近くにあったお湯が流れているホースが破裂して噴き出たお湯が陰部、両太ももに掛かった。原因はホースの老朽化による破裂である。	37	11	379	50 ~ 99

19	2017	2	11~12	被災者は、商品仕上室内にて、焼酎を入れる外箱組立の作業を終え、交代で担当する者に「外箱組立を終えた」旨のメモ（バインダー）を机に置きに行こうとした際、外箱の直置きを避けるために敷いていた介材紙（厚み5mm程度）に右足つま先を引っ掛け、積んでいた外箱（4段、高さ1m20cm程度）に前のめりに転倒し右肩を捻った。（右肩甲下筋断裂）	63	2	529	100 ~ 299
20	2017	2	9~10	酒造蔵のセメントの床に伸長してあった酒を輸送するホースにタンクを洗うために水を入れたバケツを運んでいる途中少し急いでいた為ホースに躓き転倒し腰を強打してしまった。	60	2	417	1~ 9
21	2017	1	14~ 15	本社に於いて、濾過機を加熱殺菌する為、ホースで70~80℃のお湯を砂糖溶解槽へ溜めていた。ホースを固定するカムロックのレバーを締め直そうとした時、誤って必要以上に固定金具が緩んでしまい、カンとホースが外れ、右顔面に湯がかかり、額・頬・唇に火傷を負った。	48	11	341	10 ~ 29
22	2016	12	9~ 10	梅酒のろ過で使用するホースをタンクにセットする作業を行っていた。梅酒はタンクの上部から入れるため、ステージ上でホースを引っ張っていたところ、ホースが地上に置いてあった脚立の脚部分に引っかかってしまった。引っかかり部分を直そうとホースを強く引いた際、手と足が滑ってしまい、バランスを崩し、設置してあったタンクに後ろ向きで落下し、腰を打って背骨を負傷した。	59	1	419	30 ~ 49
23	2016	12	13~ 14	蒸米冷却後の米を出す装置を清掃中、はり付いた米を取り除こうと、中の羽根が回転したままの状態を手を入れてしまい、羽根に挟まって右手中指の指先を負傷した。	24	7	165	10 ~ 29
24	2016	12	11~ 12	びんにラベルを貼る機械を作動中、ラベルがゴムローラーに挟まった時に電源を落とさずに左手でラベルを剥がそうとして、のりドラムとゴムローラーの間に左親指と人差し指を挟まれた。	58	7	169	30 ~ 49

25	2016	12	9~10	清酒仕込み蔵での仕込み作業中に、原料の蒸し米を放冷機から仕込みタンクまで輸送するエアシューターのロータリーフィーダー内に蒸し米が詰まった。ロータリーフィーダーが動作中である事に気付かず、詰まった蒸し米を取り除こうとして、送出口から右手を入れて蒸し米を?き出したため、ロータリーフィーダー内部の羽根車と送出口に右手中指を挟まれ負傷した。	37	7	165	1~9
26	2016	11	6~7	浸漬米を入れた移動こしきを蒸米装置まで1人が押し、被災者が引っ張り移動していた。被災者は進行右方向に向きを変えようと下部取手を右手で持ち引っ張ろうとしていたところ、こしきとブロック壁との間に小指を挟み負傷した。	24	7	612	1~9
27	2016	10	10~11	手作り焼酎加工場内において芋洗い機を作動中、汚泥排水部に小芋が詰まったため、回転プロペラの速度が遅かったので機械を停止せず詰まり物を除去しようと右手を差し出したところ、芋洗い機内面とプロペラ部に右手を挟み負傷した。	45	7	169	50~99
28	2016	10	10~11	蒸米放冷機の出口で蒸米を受け取る作業をしていて、持っていた蒸米を受け取る布が、放冷機のスクリューに巻きついたため、手を放そうとした拍子に放冷機のカバーの方に倒れこみ、右手を強く打った。	66	3	169	10~29
29	2016	10	14~15	バーベキュー会場で、焼台やイス・テーブル等の片付けをしていた。冷蔵ショーケースの下に配線コードが絡まっていたので、それを外すため、冷蔵ショーケースを持ち上げた時に腰を痛めた。	32	19	612	50~99
30	2016	9	14~15	敷地内に於いて、止まっているフォークリフトの上に置いていたペンを取るため、フォークリフトに乗り、ペンを取り、地面の状態を見ないで降りたため、たまたま石が転がっていたところに、左足を着地してしまい、左足首を負傷した。	24	19	417	10~29
				一升の瓶詰ライン内のラベル貼り機で、ラベル貼付部に印字用				

31	2016	9	10～ 11	のインクが付着していたため、紙ウエスを使用して拭き取り作業を行っていたところ、初めに紙ウエスが回転している機械に巻き込まれ、次に紙ウエスを持っていた右手人差し指が挟まれ負傷した。	22	7	169	30 ～ 49
32	2016	9	11～ 12	ぶどう栽培予定の農地において、トラクターでアタッチメントを使用した除草作業をしていたところ、農地が山間部に位置し、背丈2mに及ぶ雑草が群生、密生する環境下で視界不良であったため、圃場の最端面で誤って脱輪し、1.5mほど下にある脇道までの斜面を滑り落ちながら横転し、負傷した。	47	1	169	30 ～ 49
33	2016	9	14～ 15	酒蔵において酒瓶を洗う作業中、瓶を右手で取り上げた瞬間、瓶の胴体が真っ二つに割れ、右手小指第2関節部分に切り傷を負った。	54	8	379	1～ 9
34	2016	9	9～ 10	酒蔵内において、倉庫内にあるプレハブ冷蔵庫上の荷物の片付け作業を終えて下に降りる際に、階段を使用せず、そばにあった酒のケースを踏み台として足をかけたとき、踏み外してしまい落下し、頭部を打撲し負傷した。	52	1	416	10 ～ 29
35	2016	6	10～ 11	工場内のダンボールを備蓄してある場所にかかっている梯子に登っているときに梯子が滑りだし、不安定な状態となり落下し、殿部を強打した。	64	1	371	1～ 9
36	2016	4	14～ 15	倉庫において、製品に販促用の首掛けを付ける作業中、パレットに積まれた製品の荷崩れ防止の紐をはずすため、1m離れて停車していたフォークリフトの前を通ろうとした時、フォークのツメ部に右足が触れて受傷した。	57	3	417	50 ～ 99
37	2016	4	10～ 11	チューハイ用の溶解タンクに原料を投入し攪拌作業を行っていたが、溶解状況を確認するため、溶解タンクの蓋を持ち上げる際に、右側腰部にピキッと痛みが走った。	48	19	391	50 ～ 99
				研究所内の分析機器用のガスボンベの設置場所において、ヘリウムガスのガスボンベを交換する為に高さ約1mの転倒防止用の				

38	2016	4	14～ 15	棚から、空のボンベを引き抜き、充填されたボンベに交換する際に、以前より肩の腱板断裂を繰り返し、医師より無理な作業を止められている状況で、同作業を行った際に肩に痛みを感じた。	48	19	379	100 ～ 299
39	2016	4	15～ 16	秋まで低温で清酒を貯蔵するための作業中、冷却装置の付いた高さ2.5mのタンク上面を断熱する断熱カバーを2人で、高さ1.75m上の固定の足場の上で取り付け作業をしていたところロープが切れ、1人が床に墜落した。	70	1	411	1～ 9
40	2016	4	9～ 10	酒をしぼる機械の側で、大きな板についている粕をとる作業をしているときに、その大きな板が足に落ちてしまった。	27	4	522	10 ～ 29
41	2016	3	15～ 16	工場の事務所裏側のタンク蔵において作業を行っていた際、酒タンクに梯子を使ってタンクの上方に上り、中身の尺を計測した後、梯子を下りる際に左足を梯子の外に踏み外してしまい、転落した。その際に、背面をタンクの置石にぶつけ、打撲傷などを負った。	53	1	371	30 ～ 49
42	2016	3	11～ 12	工場内においてビール樽をフォークリフトにて積み、運び出そうとした時、荷くずれの恐れを感じたので荷の状態を再確認する為、一旦フォークリフトを停車させ、地上に降車しようとした。その際、フォークリフトの降車ステップ台上段、中段、下段と順次足をかけ降りようとしたが、最終下段ステップに足をかけた時踏みはずし、左腰から地面に落下し、左大腿部位を骨折した。	56	2	222	100 ～ 299
43	2016	3	16～ 17	醸造所内の高さ約2.5メートル、直径約2メートルの糖化槽の上で、スポンジを使って糖化槽の上を清掃していた際、足を滑らせて床に転落し、負傷した。	32	1	391	1～ 9
			12～	台所にて従業員の昼食の支度を終え、洗った鍋をガス台に置く				10

44	2016	3	13	際に、スリッパ履きの足元が滑ってバランスを崩して転倒。右手が身体の下になり圧迫されて手首を骨折した。	68	2	416	～ 29
45	2016	2	16～ 17	事業所工場内において、土のうを積んでいるパレットをフォークリフトで動かす為にリフトがパレットの正面に入ろうとしようとリフトのハンドルを切り直してフォークリフトを前進させる際、シフトレバーを誤って後退する側に入れてしまい、アクセルを踏んだと同時に清酒蔵の側壁とフォークリフトの右後方柱を右手で握っていた為、右手甲をフォークリフトの間に挟んで負傷した。	28	7	222	50 ～ 99
46	2016	2	10～ 11	酒造原料処理工場内にて、蒸米作業中に蒸米を移動させる為のコンベアに異物が挟まった。本来、コンベアを止めて異物除去すべき所、稼動したまま左手をコンベア内に差し込んでしまい、巻き込まれて左腕を骨折した。	38	7	224	10 ～ 29
47	2016	1	9～ 10	工場内で、貯蔵タンクのはしごを登る途中で手をすべらせて、約3m位下に落下。	45	1	371	1～ 9
48	2016	1	11～ 12	セメントの床から1.8m位上の足場に掛けてある木製の梯子から作業を終えて降りる際、階段に右足を掛けたとき、梯子が滑べり足場からはずれ、床に両足から落ちて転倒し、その際右足に力がかかって捻ってしまった。	62	1	371	1～ 9
49	2015	12	15～ 16	商品を配達して帰社途中、トラックで直進していたところ、突然対向車が突っ込んできて、よける間もなく衝突した。	39	17	231	1～ 9
50	2015	12	15～ 16	工場において、酒を移動し終えた空の開放タンクの淵より、50cm下げて床に張り巡らせた作業場において、空タンクの中にアルミの梯子を掛け清掃作業を行なう準備をし、アルミの梯子で降りて、空タンクの底で足を滑らし、頭と肘をぶつけ負傷した。	49	2	418	30 ～ 49
51	2015	12	16～	勤務終了後、職員駐車場にて帰宅のため車に乗り込む際に、凍	56	2	719	50 ～

			17	結した路面で足が滑り、右足を捻るように転倒した。				99
52	2015	11	7～8	朝の出勤において、事務所前正門から製品職場に向かう際に、積雪により凍結していた路面で転倒した。この時、後方に倒れて地面に左ひじを強打し負傷した。	50	2	719	50 ～ 99
53	2015	10	9～ 10	工場ですり洗い作業中、すり洗い機から外にあるすり受け機へ移動中、水止めブロックに足を引っ掛け転倒し、左足首を捻挫した。	58	2	418	1～ 9
54	2015	10	11～ 12	醸造場内において、酒母の仕込み時に、5kgの蒸し米が入った器を小走りでタンクに運んでいる途中に、左足ふくらはぎを痛めた。	58	19	921	10 ～ 29
55	2015	10	10～ 11	ぶどう畑において、ぶどう棚に架かる使用済みの上部防鳥ネットを、脚立に昇りまとめる作業中、バランスを崩し、脚立より慌てて飛び降りたため、石の上に落下、足首（くるぶし）と踵を骨折した。	43	1	371	1～ 9
56	2015	10	12～ 13	選ビン作業場からPラインへ移動する際、床面に這わせていたホースに躓いて転倒した。	51	2	391	50 ～ 99
57	2015	9	8～9	工場内にて、黒糖の溶解作業中、重さ約30キロの黒糖をお湯（70℃）の入った溶解タンクへ投げ込もうとしたところバランスを崩し溶解タンクの中へ転落した。その際、お湯が長靴の中に入り負傷した。	31	11	349	30 ～ 49
58	2015	9	16～ 17	酒粕を1.5t車のトラックに積み込む作業中に足をすべらせて荷台から落ちて左足を痛めた。	22	1	221	10 ～ 29
59	2015	8	14～ 15	原料芋の搬入場で、芋の入ったフレコン（約500kg）の下部から芋を出す為に結んである紐を解く作業を行っている時、雨で紐がぬれてすべるので右手に1～2回巻きつけて紐を引っ張った際に、紐がすべって中指にだけからまり引っ張る力と紐のしめ	54	7	911	50 ～ 99

75	2015	1	11~ 12	醸造棟1階、上槽室において天井が低い所で、床及びベルトコンベアを掃除している時に天井に高低があり、その低い部分で頭を強打し、裂傷を負ってしまった。	49	3	418	100 ~ 299
76	2015	1	10~ 11	酒蔵において、酒の仕込みのためエアーシューターを抱えて渡り廊下を移動している際に足を踏み外し隙間から落ちかけて足場に引っかかり脇腹を痛めた。	35	1	417	10 ~ 29
77	2014	12	6~7	工場内、屋外の泥溜槽で泥の排出作業をしようとして泥溜槽内のコンクリート製の仕切りに体をかかけた際、滑って倒れ仕切りに体をぶつけ、槽に転落し肋骨を骨折した。	39	1	418	10 ~ 29
78	2014	12	7~8	琥珀仕上げ場で自動包装を行っている時に包装紙から空気を抜く為の針部分にゴミが付着しているか確認する為、包装機可動部の安全カバーを外してその箇所を確認するべく針部が上下するよう機械を止めずに階段を昇りかがんで視認する際に可動部分が通るアングルに左手を置いてしまい、上から降りてきた可動部に左手中指第一関節を挟み込まれ部分断裂の怪我を負った。	52	7	169	100 ~ 299
79	2014	12	9~ 10	酒造工場にて、原酒の送り込み作業中、タンク上部にある送液するための切替レバーを操作後、ポンプの方へ戻る際、タンク上部から足場に降りた際、着地に失敗し左足を捻挫した。	42	3	419	50 ~ 99
80	2014	12	13~ 14	出張中営業活動のため営業車にて移動中、頭痛吐き気を訴え歩行困難となり、救急搬送の結果、クモ膜下出血と診断された。	39	99	999	100 ~ 299
81	2014	12	13~ 14	蔵工場内で仕込み作業中、ステンレス製の箱（縦約90cm、高さ約40cm、重さ約10kg）を洗浄する為両手で抱えて2階から1階の洗浄場所に向い階段を降りていた所、1階まで残り2段目で誤って階段を踏み外し転落した際左手首を負傷。	39	2	413	10 ~ 29
				瓶詰工場において300ml小ビンのビン詰作業中、洗ビンしたビンを小ロット詰機の入り口コンベア(高さ82cm)にビンを上げ、ビ				

82	2014	12	13～ 14	ンに冷酒詰めをしていたところ、充填機とビンの入るタイミングが合わず、入口アタッチメントを調整していたところ、充填入口ラインでビンが倒れそうになったので、コンベアと充填機を停止しないで左手でビンを起そうとしたら、入口ラインのアタッチメントガイド(ポリエチレン製厚さ5mm)とビンに挟まれ手を負傷した。	63	7	224	30 ～ 49
83	2014	11	9～ 10	発酵タンク室で仕込み（出麴）作業中に、原料の麴を搬送するためのローラープーリー（直径約15cm、長さ約50cm、ステンレス製）に原料カスが付着していたので、長さ約20cmのステンレス製ヘラで除去しようとしたところ、誤って、稼動していたローラープーリーとベルトの間に右腕を巻き込まれ、右腕（上腕骨・橈骨・尺骨）骨折、肘周辺裂傷。	47	7	121	100 ～ 299
84	2014	11	6～7	2階の蒸留制御室から1階へ降りる際、階段を踏み外し階段の角で腰を強打した。	53	2	413	10 ～ 29
85	2014	11	10～ 11	当社工場において、にごり酒の準備をされていて同僚に呼ばれたため、振り向きざまにそちらに向かおうとした時、足元に蒸気を通すホースに足がつまずき転倒。咄嗟に右手を床についた途端、肘に痛みを感じた。	37	2	379	30 ～ 49
86	2014	11	8～9	釜場で蒸しを放冷機に入れ終わった後、中を掃除している時、クラッシャーに手を巻き込まれてしまった。	24	7	169	10 ～ 29
87	2014	11	13～ 14	事業所敷地内の原料棟へ自転車で移動し、原料棟の前で自転車を止めようとした時、路面の砂で自転車がスリップして転倒した。左側頭部と左腰部を強打し負傷した。	64	2	523	10 ～ 29
			13～	本社工場内において一升瓶の表面に貼るラベル装填スライドにラベル補充しようとしたところ、スライド内でラベルが傾いてしまった。慌てて機械が動いている状態で右手をラベルのラッ				10

88	2014	11	14	クと回転中のラベルのり板との間に差し入れたところ、ラベルラックの鉄製のツメと回転してきたラベルのり板の間に右手第一指と第五指を挟み負傷した。	44	7	169	～ 29
89	2014	11	13～ 14	清酒貯蔵用タンクの洗浄をするため、タンク上部の足場に登りタンク注水口にアクセスするための足場についている蓋を開けた。その時誤って開けた部分に落ち、前方に転倒し右肩を強打して捻挫した。開口部へ墜落したのではなく、開口部に足をつまずかせて転倒したもの。	25	2	416	10 ～ 29
90	2014	10	11～ 12	排水処理のスクリーンが目詰まりし、掃除をするためにスクリーンを裏返す際、上のパネルを押すところを下のパネルを押し上げたため、スクリーンが外れ右足甲を骨折した。	61	4	391	10 ～ 29
91	2014	10	16～ 17	稲刈りを終え、帰社中に従業員運転のワゴン車に乗車しバイパスの交差点に進入したところし直進の大型貨物トラック正面とワゴン車の左中央部が接触し助手席に乗車していて被災した。	22	17	231	10 ～ 29
92	2014	10	16～ 17	稲刈りを終え、帰社中に従業員運転のワゴン車に乗車しバイパスの交差点に進入したところし直進の大型貨物トラック正面とワゴン車の左中央部が接触し三列目右に乗車していて被災した。	48	17	231	10 ～ 29
93	2014	10	14～ 15	瓶詰工場内において瓶詰作業中、瓶補給後に空いた木製パレットを整理するためパレットの一片を手で持ち上げ立てようとしたが手を離れたためその一片が足先に落下し負傷した。	51	4	379	10 ～ 29
94	2014	9	11～ 12	焼酎ビン詰め作業場にて不良ビンを細かく砕く作業中、素手でビン同士を叩きつけ砕いたため誤って右手首を負傷した。	52	8	529	50 ～ 99
95	2014	9	18～ 19	工場内で、近くにあった高椅子（座面まで1m）の座面に登り、梱包用の空のダンボールを棚の上に置いた後、高椅子の足場を使って下に降りようとしたところ、誤って足場から足を踏	57	1	371	30 ～ 49

				み外し転倒した。その際に左手首をついてしまい骨折した。				
96	2014	9	16～ 17	瓶詰め充填機の横を通りかかった際、足元のホースから水が出ていた為、水の元栓を止めたところ、ホースから蒸気が噴き出し、右足にかかり火傷した。	59	11	391	10 ～ 29
97	2014	8	8～9	芋処理場で芋くずの入ったサンテナを台車から両手で持ち上げ、身体の右側から左側へ運んだところ腰に負担がかかり腰椎部を痛めたもの	45	19	611	100 ～ 299
98	2014	8	10～ 11	製品工場にて商品の箱出し作業中に、商品の置いてある場所に移動しようとして足元においてあったポリ箱につまずいて転倒した。右膝から地面に落ちたので骨にひびが入った。また左肩を打撲した。	54	2	611	100 ～ 299
99	2014	8	8～9	移動式ベルトコンベア（長さ3～4m・重さ150～200kg）を廃棄するため移動させようとしたが、キャスターが固着して動かなかった為、ベルトコンベアの下に入り背中で持ち上げようとしたところ、胸椎圧迫骨折となった。	45	19	121	10 ～ 29
100	2014	8	13～ 14	酒タンクに酒を戻すため、梯子を掛け登った際、足を滑らせバランスを崩し1m下へ落下。	51	1	371	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。